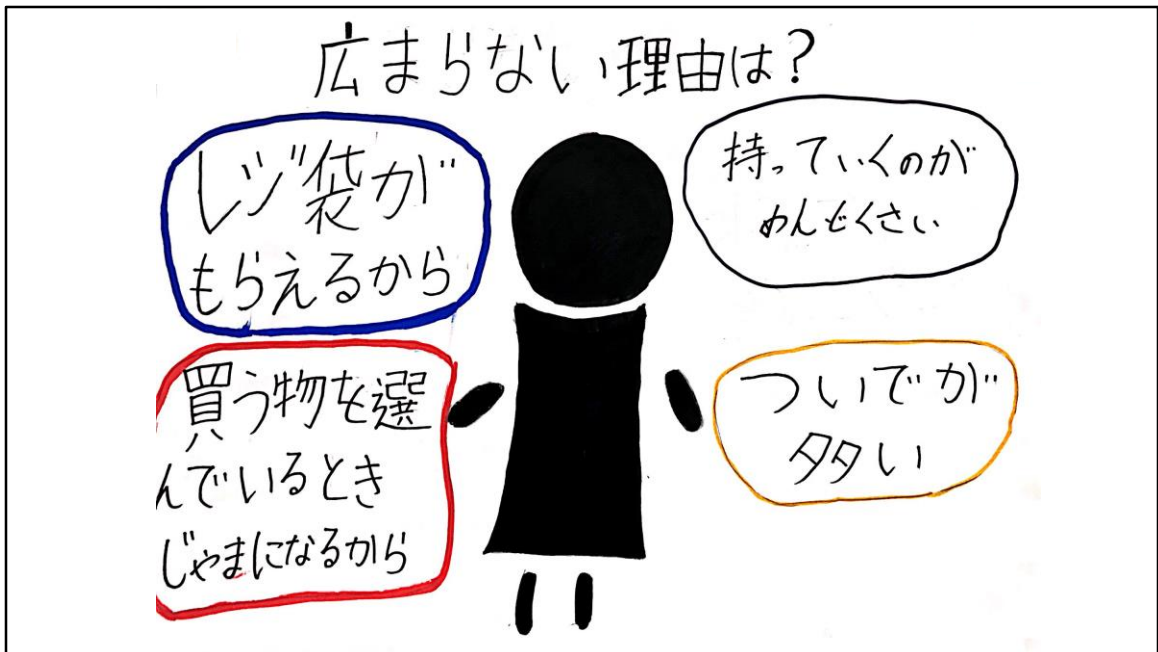


これから河井裁判所の発表を始めます。僕たちが選んだエコアクションはマイバックを持ち歩こうです。

まず始めに、ぼくたちがなぜこのエコアクションを選んだのかを説明します。選んだ理由は、動物たちがレジ袋を誤って食べて死んでいるのが可哀そうだと思ったからです。左の写真のようにウミガメがレジ袋を飲み込んで死亡しています。皆さんは可哀そうだと思いますか。それに右の絵のようにマイバックを持ち歩いている人をあまり見た事が無いと思います。その理由を次に説明します。



何故マイバックが広まらないのはどうしてかを考えました。
まず、お店に行ったらレジ袋をもらえるからです。しかし最近、レジ袋の有料化が進んでいるのでマイバックの方がお得ではないでしょうか。
次の理由は、持つていくのがめんどうくさいからです。ですが、マイバックを玄関においておけば、手間にならないのではないのでしょうか。
そして最後の理由は家にあっても持つていくのを忘れるし、邪魔というのがあります。しかしこれも、常に持ち歩く鞆に入れておけば忘れないし、邪魔ではなくなるのではないのでしょうか。

国内のレジ袋の消費量

年間

約 300億枚

||

石油

60万 KL



2Lのペットボトル **30億**

次に、レジ袋の現状をお伝えします。

現在、日本国内では年間300億枚ものレジ袋を消費しています。これは国民一人当たり、約300枚使っていることとなります。それが大きな環境問題となるのです。レジ袋は石油から作られます。レジ袋1枚につき、23mlの石油を使うので、600000klもの石油を消費しています。それは、2ℓのペットボトル30億個分の石油が使われています。レジ袋を使うイコール石油を消費するということなのです。



次にマイバックがどうしたら広まるのかを考えました。まず1つ目は、ファッション性を重視したデザインのマイバックにすることです。今までのマイバックは地味でダサいし、会社のロゴが入っているからという理由でマイバックを使用していない人も多いと思います。

だから、普段でも使えるような、おしゃれなマイバックにしたらいいと思います。

そして、2つ目はレジ袋にレジ袋を間違えて飲み込んで死んだ動物を印刷することです。それを見ると「動物が可哀そうだからやめておこう。」「このような写真は見たくない。」という理由からマイバックを持つ人が増えるのではないのでしょうか。

今、レジ袋をはじめとする容器などは、家庭から出るごみの約6割を占めています。レジ袋の削減によって、ゴミの削減につながるのではないのでしょうか。

感想
どうしたらレジ袋の使用を減らし
Myバックを使用してもらえるか考えた。
絵、画像、ピクトグラム、を使用し分かり
やすくした。
エコについて知れました。

次は感想です。

とてもマイバックについて深く考えることが出来て、工夫も出来たのでとても楽しかったです。それと同時に環境問題も考えることが出来ました。この発表を通して、マイバックを使うことの大切さを実感しました。まずはレジ袋を断る事です。アイルランドでは、レジ袋1枚につき15円を課税し、5か月で9割のレジ袋削減に成功した実例があります。レジ袋は削減できるのです。まずはレジ袋を断ることが大切です。レジ袋を断り、誰もが住みやすいより良い環境にしていきましょう。

NOレジ袋！レジ袋いりませんの一言から始めてみましょう。